



東京産業保健総合支援センター研修案内(平成30年8月～10月)

◇研修のお申し込みは、当センターのホームページから直接申し込むことができます。

◇当センターが主催する研修は、すべて無料で受講できます。

◇研修は当センターの研修室で開催しています。会場が異なる場合は表記いたしますのでご注意ください。

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-14 日本生命三番町ビル3F TEL:03-5211-4480 FAX:03-5211-4485

URL=<http://www.tokyos.johas.go.jp>

◆認定産業医研修◆

※基礎研修は実施しておりません。認定証をお持ちの産業医の方が対象の研修です。

日時	テーマ	講師	単位	定員
8月1日(水) 14:00～16:00	労働安全衛生法の理解を深める ～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～ 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、46年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。	荒川 輝雄	生涯・ 専門2	70
8月9日(木) 14:00～16:00	働き方改革と健康管理 働き方改革の中では労働時間管理をどうするかが大きく注目されていますが、労働者の健康をどう維持管理していくかもとても重要です。働き方改革の中で健康管理をどのように進めていくのか、また、健康管理は働き方改革関係法(法律案要綱)の中でどのように扱われているのか等について考えてみます。	中山 篤	生涯・ 更新2	70
8月23日(木) 14:00～16:00	事業場における治療と職業生活の両立支援 がんやメンタルヘルス不調などに罹患した従業員を健康面、人事面からしっかりサポートし治療と就業の両立をはかることは、本人にとっても会社にとっても有意義な取り組みです。本研修では、この両立支援を行うに産業医がキーパーソンとしてどのような対応を行うのかを一緒に学びたいと思います。	内田 和彦	生涯・ 専門2	70
8月24日(金) 13:30～16:30	作業環境測定方法 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・ 実地3	30
8月27日(月) 14:00～16:00	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方 メンタルヘルス不調労働者に係る「事業者の安全配慮義務」、「復職判定」等に関する判例を紹介し、併せて、医師面談等の産業医活動における法的リスクの回避についても解説します。	梶川 清	生涯・ 更新2	70
8月28日(火) 14:00～16:00	職場の感染症対策 産業医の業務として職場の感染症対策の重要性が増しています。これには季節性インフルエンザなど日常的に発生する感染症だけでなく、結核など特殊な感染症についても十分な対策を構築しておく必要があります。本研修では国内の職場で発生しうる感染症とともに、海外勤務者にリスクのある感染症や外国人労働者の感染症についての対策を解説します。	濱田 篤郎	生涯・ 専門2	70
9月3日(月) 14:00～16:00	職場復帰支援のあり方 職場復帰支援の問題は、職場で展開されるメンタルヘルス活動・メンタルヘルス管理の一環です。したがってメンタルヘルス活動の原理原則を明確化させ、あわせて各職場に即した復職判定のあり方について検討します。	大西 守	生涯・ 専門2	70
9月4日(火) 14:00～16:00	ストレスチェック制度と快適職場 生涯現役の時代は働くことによって健康になるという考え方が注目されています。また、ストレスチェック集団分析への関心の高まりが職場のあり方を見直す動きにつながっています。産業医の立場からも、働き甲斐のある職場とはどういう職場かを考え、提案していくことが求められていると思います。働くことで、成長できる、チームとして動ける、創意工夫を発揮できる、相当の処遇を受け、社会的に評価されるとはどういうことなのか考えます。	古山 善一	生涯・ 更新2	70

9月6日(木)	働き方改革と健康管理			
14:00～16:00	働き方改革の中では労働時間管理をどうするかが大きく注目されていますが、労働者の健康をどう維持管理していくかもとても重要です。 働き方改革の中で健康管理をどのように進めていくのか、また、健康管理は働き方改革関係法(法律案要綱)の中でどのように扱われているのか等について考えてみます。	中山 篤	生涯・更新2	70
9月11日(火)	建設現場の職場巡視			
14:00～16:00	建設現場の安全衛生管理は、他職種と大きな違いがいくつかあります。基礎工事から完成までの有限性であること。その間使用する機材、有害物質が多様多様にわたり、労働者への曝露やハザードも様々であること。他職種にはない短期請負制度があること等です。そうしたことを把握した上で、しっかりとしたリスクマネジメントが求められています。「百聞は一見に如かず」です。まずはスライドで現場を「御一見」下さい。	土屋 謙	生涯・専門2	70
9月13日(木)	職場における睡眠障害			
14:00～16:00	睡眠負債が最近話題になっていますが、職場における睡眠の問題は多種多様です。その原因は個人の生活習慣によるもの、家庭環境によるもの、疾患によるものだけでなく、職場環境によるものもあります。 今回は職場における睡眠障害に焦点を絞り、睡眠障害の分類は「睡眠障害の国際分類第3版」に基づき、さらにそれらの対処法を解説します。	山寺 博史	生涯・専門2	70
9月18日(火)	健康診断事後措置の具体的な事例～ケースカンファレンス～			
14:00～16:00	健康診断の事後措置について、「就業に関する医師等の意見」に焦点をあて、その解説に加えて事例のグループ討議を行います。産業医がどのように事後措置へ関るのかの理解を深めることを目的とした研修です。	竹田 透	生涯・実地1 生涯・更新1	40
9月26日(水)	作業環境測定方法			
13:30～16:30	本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地3	30
10月2日(火)	ストレスチェック制度と快適職場			
14:00～16:00	生涯現役の時代は働くことによって健康になるという考え方が注目されています。また、ストレスチェック集団分析への関心の高まりが職場のあり方を見直す動きにつながっています。 産業医の立場からも、働き甲斐のある職場とはどういう職場かを考え、提案していくことが求められていると思います。 働くことで、成長できる、チームとして動ける、創意工夫を発揮できる、相当の処遇を受ける、社会的に評価されるとはどういうことなのか考えます。	古山 善一	生涯・更新2	70
10月4日(木)	働き方改革と健康管理			
14:00～16:00	働き方改革の中では労働時間管理をどうするかが大きく注目されていますが、労働者の健康をどう維持管理していくかもとても重要です。 働き方改革の中で健康管理をどのように進めていくのか、また、健康管理は働き方改革関係法(法律案要綱)の中でどのように扱われているのか等について考えてみます。	中山 篤	生涯・更新2	70
10月11日(木)	事例検討～産業医としてどう対応するか～			
14:00～16:00	職場で直面する健康管理上の問題事例を取り上げ産業医としてどのように考え、どう対応するのが望ましいのか、グループワーク、全体発表を通じて参加者全員で考えていきたいと思えます。	内田 和彦	生涯・実地2	40
10月12日(金)	「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について			
14:00～16:30	平成28年6月より改正労働安全衛生法により施行された「化学物質のリスクアセスメント」の義務化について、法改正の内容、事業場における対応、コントロールバンディングとは？、検知管を用いたリスクアセスメントの手法、個人ばく露濃度測定等を中心に、産業医の方を対象に「化学物質のリスクアセスメント」について解説します。 ※本研修の研修時間は2.5時間(午後2時00分～午後4時30分)です。	市川 英一	生涯・更新2.5	70
10月15日(月)	産業保健活動 産業医としての業務について～実際の産業医業務をどのように進めるか～			
14:00～16:00	対象として、産業医業務の基本的事項について解説致します。具体的には、安全衛生計画の立案(評価)や安全衛生委員会の開催(運営)、職場巡視の実施や過重労働による健康障害防止活動の進め方等、産業医の関わる基本的な安全衛生事業について具体的な例を示しながら進めたいと思っています。産業医業務の実際についてご経験の少ない方々を歓迎致します。	角田 透	生涯・専門2	70

10月17日(水)	長時間労働者・高ストレス者に対する面接指導の実施方法について 14:00～16:00 厚生労働省が作成した『高ストレス者の面接指導に関する報告書・意見書作成マニュアル』の活用と医師面談における法的リスクの回避について解説します。	梶川 清	生涯・更新 ²	70
10月19日(金)	産業保健の歴史と今後の展望 14:00～16:00 主として明治時代以降の日本の産業保健の歴史を概観するとともに、働き方改革を含めた課題と今後の展望を考える。	石井 義脩	生涯・専門 ²	70
10月26日(金)	作業環境測定方法 13:30～16:30 本研修は、産業医が毎月1回行うことになっている「職場巡視に役立てる」を主眼に、「デジタル粉じん計」や有機溶剤等有害ガスや事務所の一酸化炭素測定に用いられる「検知管」それに局所排気装置の性能検査で使われる「スモークテスター」「熱線風速計」等の実習を行います。	市川 英一 岩崎 毅	生涯・実地 ³	30
10月30日(火)	産業保健と法^⑫～高年齢者雇用～ 14:00～16:00 少子高齢化の著しい我が国では「高年齢者雇用」への対応が重要度を増してきました。高年齢者の就労を確保・促進するためには、その特性をふまえた健康管理や就労上の配慮などが必要になります。産業保健関係者の活躍が望まれる領域のひとつと言えるでしょう。研修では、これらの課題を考えるうえで知っておくべき「高年齢者雇用」の制度や定年制にまつわる法的問題などについて、基礎的なところから解説していきます。	弁護士 西園寺 直之	生涯・専門 ²	70
10月31日(水)	職場のメンタルヘルスにおける依存症 14:00～16:00 人は、気持ちに余裕がなくなるとストレス発散なのか嗜癖に陥り易いものです。例えば、アルコール、薬物、異性やギャンブルなどに。職場のメンタルヘルス問題の背景にも、依存(症)が隠されているかもしれません。一緒に依存症を概観し、症例を考えてみましょう。	長尾 博司	生涯・専門 ²	70

◆保健師・看護師研修◆

日時	テーマ	講師	単位	定員
8月3日(金) 14:00～16:00	ストレスチェック制度施行3年目～課題や問題点を見据えてのこれから～ 今年で3年目のストレスチェック制度、進み具合やその効果はいかがでしょうか。個々のストレスへの気づき、高ストレス者の選定から面接指導への流れはいかがでしょうか。受検率や面接指導の申出は定着されてきていますでしょうか。個から集団への目が向けられている今、職場環境の改善への流れを感じます。メンタルヘルス対策の一環であるこの制度、職場環境づくりにも大いに力が発揮されれば、個へのストレスの軽減になるのではないのでしょうか。そんな見方などを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。情報共有ができればうれしいですね。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
8月7日(火) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例 ～ハラスメントを発生させない為の快適職場環境の形成について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。第二部で各企業における「ハラスメントを発生させない為の快適職場環境の形成」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
8月14日(火) 14:00～16:00	IT企業のセルフケア ストレスチェック制度が始まって3年目になりました。一次予防としてのストレスチェックをチェックだけにとどまらず、セルフケア研修なども実施して社員の方々が自分自身のストレスに気づき、早めに対処できるように取り組んでいらっしゃる企業も多いと思います。毎回同じ研修にならないよう担当者の方は色々工夫されて実施されていらっしゃるのではないのでしょうか？私がおりましたIT企業では、過重労働、刻々と進歩する技術へのスキルアップの問題等ストレスの多い職場でしたが何よりも一番の問題は人間関係・職場環境でした。その経験を踏まえ、体験もお話しながら交流分析のOKグラムとアサーションを取り入れ、ストレス対処について、人間関係、コミュニケーションの取り方を切り口にしたセルフケア研修をご紹介します。職場で活用していただけるよう使用した教材は差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 シニア産業カウンセラー 山口 尚子	単位なし	30
8月20日(月) 14:00～16:00	労基法・安衛法・労災保険法における視点と相違点 過重労働対策を中心に、各法制度の特徴を明らかにして労務管理・健康管理上の留意点を検討したいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	飯島 正三	単位なし	30
8月21日(火) 14:00～16:00	産業保健と法⑬～高齢者雇用～ 少子高齢化の著しい我が国では「高齢者雇用」への対応が重要度を増してきました。高齢者の就労を確保・促進するためには、その特性をふまえた健康管理や就労上の配慮などが必要になります。産業保健関係者の活躍が望まれる領域のひとつと言えるでしょう。研修では、これらの課題を考えるうえで知っておくべき「高齢者雇用」の制度や定年制にまつわる法的問題などについて、基礎的なところから解説していきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	弁護士 西園寺 直之	単位なし	30
8月29日(水) 13:30～16:30	職場の喫煙環境対策の進め方・労働衛生保護具の選定について～測定機器の操作・測定実習～ 職場の喫煙環境対策のために「デジタル粉じん計」や「スモークテスター」等の測定機器を用いた測定実習や防塵、防毒マスクを使用したマスクテスターによる実習、耳栓チェッカーを使用した騒音実習等を行います。	市川 英一	単位なし	30
8月30日(木) 14:00～16:00	働き方改革と健康管理 働き方改革の中では労働時間管理をどうするかが大きく注目されていますが、労働者の健康をどう維持管理していくかもとても重要です。働き方改革の中で健康管理をどのように進めていくのか、また、健康管理は働き方改革関係法(法律案要綱)の中でどのように扱われているのか等について考えてみます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	単位なし	30

9月5日(水) 14:00～16:30	労働安全衛生法の理解を深める ～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～ 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、46年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	単位なし	30
9月7日(金) 14:00～16:00	実践的な職場復帰支援 ～持続可能な働き方、メンタルヘルスとがん等の両立支援を求めて～ 一次予防を目的としたストレスチェック制度が始まり、早めの休職、復職への流れはいかがでしょうか。予防はもちろんですが、制度の活用により、働き続けられる職場環境づくりに期待したいですね。 職場復帰までの道のりを、事例に基づきながら、今自社でできる対応と一緒に学びませんか。 産業保健スタッフ等は、いつどのように対応していくことが効果的か、個別対応も含め、組織的にも、静から動へ向かって進める時、休職者の自分探しや自己発見・成長につながるよう、必要な傾聴と伴走、そして、働き続けられる職場環境づくりへ、働く喜びへとつながる実際をお伝えできればと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30
9月10日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ストレスチェック後のラインケア～ ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてラインケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なメンタルマネジメント方法について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	単位なし	30
9月14日(金) 14:00～16:00	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方 企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	梶川 清	単位なし	30
9月19日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生体制を構築する為の基盤づくりと関連部門との協業活動について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「安全衛生体制を構築する為の基盤づくりと関連部門との協業活動」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	単位なし	20
9月21日(金) 14:00～16:00	事例を通して考える 部下やメンタルヘルス不調者とのコミュニケーション 援助になるかかわり方のポイントについて、体験的に学べる機会にしたいと思います。 (研修内容は前回(平成30年6月1日開催)と同じです。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松島 尚子	単位なし	20
10月5日(金) 14:00～16:00	ストレスチェック制度施行3年目 ～職場の変化、改善内容や意識の変化はいかがでしょうか～ 一次予防を目的としたストレスチェック制度が始まり、3回の実施で見えてきた課題・問題点はいかがでしょう。 実施機関や実施方法、調査項目等、全体のPDCAサイクルの動きも気になるところです。仕事のストレス判定図を用いた集団的な分析には関心が高いようです。職場環境の改善の取り組み内容や実践はいかがでしょうか。時に助成金の活用、専門家の指導を受けて進めるのも一つの方法です。制度施行3年目を迎えた今、理想的なストレスチェック制度の活用を目指し、安心して受けられる、不利益にならないことの認知が進むよう、一緒に情報共有していきませんか。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	単位なし	30

10月9日(火) 14:00～16:00	<p>働く人のメンタルヘルス最前線⑩～法に基づくストレスチェック制度実践編(ベストプラクティスから学ぶ職場環境改善活動&健康経営)～</p> <p>事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使えるツールや手法について、最新情報をもとに解説いたします。また、各種事業場の取り組み事例やベストプラクティスをもとに、ポイントをまとめてご紹介いたします。その他、厚生労働省発信の最新の動きや、経済産業省が推進している、「健康経営」に取り組む企業を認定する制度「健康経営優良法人認定制度」についても、詳しく解説いたします。</p> <p>本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 ※毎回すぐに受付終了となってしまう、ご迷惑おかけして申し訳ありません。今回は、初めて参加される方に焦点をあてて講義します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	「こころの耳」 事務局長 石見 忠士	単位なし	30
10月10日(水) 14:00～16:30	<p>労働安全衛生法の理解を深める ～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～</p> <p>労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、46年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	荒川 輝雄	単位なし	30
10月16日(火) 14:00～16:00	<p>「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の実践で健康経営を！</p> <p>平成28年2月に、厚生労働省は「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を示しました。そこで、当研修では、ガイドラインが公表されることとなった背景やガイドラインの内容、そして両立支援の進め方を理解し、健康管理の充実に取り組むことで、健康経営の実現、優良企業を目指します。今急務となっていることは何か、優先的に取組が必要なのは・・・等について、考えます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	飯島 美世子	単位なし	30
10月18日(木) 14:00～16:00	<p>産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編)</p> <p>定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦労した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	高山 俊政	単位なし	30
10月23日(火) 14:00～16:30	<p>新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える</p> <p>新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」していくことを考えていきます。 (研修の内容は平成30年7月24日開催の研修と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	廣川 進	単位なし	30
10月24日(水) 14:00～16:00	<p>労働衛生管理の基礎と事例 ～管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修について～</p> <p>基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。</p> <p>第二部で各企業における「管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)</p>	吉田 守	単位なし	20

◆人事・労務・衛生管理者研修◆

日時	テーマ	講師	定員
8月3日(金) 14:00～16:00	ストレスチェック制度施行3年目～課題や問題点を見据えてのこれから～ 今年で3年目のストレスチェック制度、進み具合やその効果はいかがでしょうか。個のストレスへの気づき、高ストレス者の選定から面接指導への流れはいかがでしょうか。受検率や面接指導の申出は定着されてきていますでしょうか。個から集団への目が向けられている今、職場環境の改善への流れを感じます。メンタルヘルス対策の一環であるこの制度、職場環境づくりにも大いに力が発揮されれば、個へのストレスの軽減になるのではないのでしょうか。そんな見方などを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。情報共有ができればうれしいですね。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40
8月7日(火) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例 ～ハラスメントを発生させない為の快適職場環境の形成について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。第二部で各企業における「ハラスメントを発生させない為の快適職場環境の形成」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
8月14日(火) 14:00～16:00	IT企業のセルフケア ストレスチェック制度が始まって3年目になりました。一次予防としてのストレスチェックをチェックだけにとどまらず、セルフケア研修なども実施して社員の方々が自分自身のストレスに気づき、早めに対処できるように取り組んでいらっしゃる企業も多いと思います。毎回同じ研修にならないよう担当者の方は色々工夫されて実施されていていらっしゃるのでしょうか？私がおりましたIT企業では、過重労働、刻々と進歩する技術へのスキルアップの問題等ストレスの多い職場でしたが何よりも一番の問題は人間関係・職場環境でした。その経験を踏まえ、体験もお話しながら交流分析のOKグラムとアサーションを取り入れ、ストレス対処について、人間関係、コミュニケーションの取り方を切り口にしたセルフケア研修をご紹介します。職場で活用していただけるよう使用した教材は差し上げます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	古山 善一 シニア産業カウンセラー 山口 尚子	40
8月20日(月) 14:00～16:00	労基法・安衛法・労災保険法における視点と相違点 過重労働対策を中心に、各法制度の特徴を明らかにして労務管理・健康管理上の留意点を検討したいと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	飯島 正三	40
8月21日(火) 14:00～16:00	産業保健と法⑬～高齢者雇用～ 少子高齢化の著しい我が国では「高齢者雇用」への対応が重要度を増してきました。高齢者の就労を確保・促進するためには、その特性をふまえた健康管理や就労上の配慮などが必要になります。産業保健関係者の活躍が望まれる領域のひとつと言えるでしょう。研修では、これらの課題を考えるうえで知っておくべき「高齢者雇用」の制度や定年制にまつわる法的問題などについて、基礎的なところから解説していきます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	弁護士 西園寺 直之	40
8月30日(木) 14:00～16:00	働き方改革と健康管理 働き方改革の中では労働時間管理をどうするかが大きく注目されていますが、労働者の健康をどう維持管理していくかもとても重要です。働き方改革の中で健康管理をどのように進めていくのか、また、健康管理は働き方改革関係法(法律案要綱)の中でどのように扱われているのか等について考えてみます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	中山 篤	40
9月5日(水) 14:00～16:30	労働安全衛生法の理解を深める ～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～ 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、46年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	40

9月7日(金) 14:00～16:00	実践的な職場復帰支援 ～持続可能な働き方、メンタルヘルスとがん等の両立支援を求めて～ 一次予防を目的としたストレスチェック制度が始まり、早めの休職、復職への流れはいかがでしょうか。予防はもちろんですが、制度の活用により、働き続けられる職場環境づくりに期待したいですね。 職場復帰までの道のりを、事例に基づきながら、今自社でできる対応を一緒に学びませんか。 産業保健スタッフ等は、いつどのように対応していくことが効果的か、個別対応も含め、組織的にも、静から動へ向かって進める時、休職者の自分探しや自己発見・成長につながるよう、必要な傾聴と伴走、そして、働き続けられる職場環境づくりへ、働く喜びへとつながる実際をお伝えできればと思います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40
9月10日(月) 14:00～16:00	メンタルヘルス「社内研修の進め方」～ストレスチェック後のラインケア～ ストレスチェック後の結果が蓄積され、より快適な職場環境づくりが進められています。そこに加えてラインケアの必要性が再認識されています。最近関心が高まっているアンガーマネジメントも含めて、有効なメンタルマネジメント方法について解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松井 知子	40
9月14日(金) 14:00～16:00	ストレスチェック制度・メンタルヘルス対策の進め方 企業における取組み状況と課題、産業保健スタッフの役割と各対策の実施効果が得られるようにするためのスキルアップについて解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	梶川 清	40
9月19日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例～安全衛生体制を構築する為の基盤づくりと関連部門との協業活動について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「安全衛生体制を構築する為の基盤づくりと関連部門との協業活動」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
9月21日(金) 14:00～16:00	事例を通して考える 部下やメンタルヘルス不調者とのコミュニケーション 援助になるかかわり方のポイントについて、体験的に学べる機会にしたいと思います。 (研修内容は前回(平成30年6月1日開催)と同じです。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	松島 尚子	20
10月5日(金) 14:00～16:00	ストレスチェック制度施行3年目 ～職場の変化、改善内容や意識の変化はいかがでしょうか～ 一次予防を目的としたストレスチェック制度が始まり、3回の実施で見えてきた課題・問題点はいかがでしょう。 実施機関や実施方法、調査項目等、全体のPDCAサイクルの動きも気になるところです。仕事のストレス判定図を用いた集団的な分析には関心が高いようです。職場環境の改善の取組み内容や実践はいかがでしょうか。時に助成金の活用、専門家の指導を受けて進めるのも一つの方法です。制度施行3年目を迎えた今、理想的なストレスチェック制度の活用を目指し、安心して受けられる、不利益にならないことの認知が進むよう、一緒に情報共有していきませんか。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	菅野 由喜子	40
10月9日(火) 14:00～16:00	働く人のメンタルヘルス最前線⑩～法に基づくストレスチェック制度実践編(ベストプラクティスから学ぶ職場環境改善活動&健康経営)～ 事業場内メンタルヘルス推進担当者(保健師・看護師、人事労務担当者等)が、経営トップに説明したり、労働者に研修したりする際に、「使えるネタ」を提供します。 法に基づくストレスチェック制度を実施した後、集団分析結果を踏まえた職場環境改善活動時に使えるツールや手法について、最新情報をもとに解説いたします。また、各種事業場の取り組み事例やベストプラクティスをもとに、ポイントをまとめてご紹介いたします。 その他、厚生労働省発信の最新の動きや、経済産業省が推し進めている、「健康経営」に取り組む企業を認定する制度「健康経営優良法人認定制度」についても、詳しく解説いたします。 本講義を通じ、自社に持ち帰った上で、働く人のメンタルヘルスに関し説明する力が身につけられることを願っております。希望者には当日使用したスライドを差し上げます。 ※毎回すぐに受付終了となってしまう、ご迷惑おかけして申し訳ありません。今回は、初めて参加される方に焦点をあてて講義します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	「こころの耳」事務局長 石見 忠士	40

10月10日(水) 14:00～16:30	労働安全衛生法の理解を深める ～法律の趣旨、体系や法律の読み方を理解する～ 労働安全衛生法は、昭和47年(1972年)に制定されて以来、46年が経ちました。その間、重大な労働災害の発生や社会情勢の変化に対応するため、数多くの法律改正が行われ、省令や告示の新設、改正は数えきれないくらい行われました。労働安全衛生法と関連の政省令、告示等はますます複雑膨大になってきています。労働安全衛生法の理解を深めていただくために、法令はどのようなプロセスを経て制定されるのかを説明した上で、労働安全衛生法の趣旨、体系、改正の歴史や法律の読み方を分かりやすく解説します。同法の第7章「健康の保持増進の措置」については、詳しく解説します。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	荒川 輝雄	40
10月16日(火) 14:00～16:00	「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」の実践で健康経営を！ 平成28年2月に、厚生労働省は「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」を示しました。そこで、当研修では、ガイドラインが公表されることとなった背景やガイドラインの内容、そして両立支援の進め方を理解し、健康管理の充実に取り組むことで、健康経営の実現、優良企業を目指します。今急務となっていることは何か、優先的に取り組む必要なのは・・・等について、考えます。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	飯島 美世子	40
10月18日(木) 14:00～16:00	産業保健スタッフのための定期健康診断の実際(基礎編) 定期健康診断は産業保健の基礎となるものです。この健診がどのような法律に基づいて行われるのか、誰が行うのか、結果の取り扱いについてどのような規則があるのか等基本的な解説をします。また、実際に職場で困った事、苦勞した事例などありましたらお持ち下さい。皆さんで検討しましょう。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	高山 俊政	40
10月23日(火) 14:00～16:30	新型うつ、適応障害、発達障害、いわゆる「グレーゾーン」とどうつきあうか、育て直しの職場コミュニケーションを考える 新型うつ、適応障害、発達障害など職場の不応は軽症化するものの多様化が進んでいる。診断がつくほどではないが(弱い疾病性)、症状が隠れていて本人も周囲も気づきにくい(強い事例性)ケースに職場はどうつきあっていけばいいのか。コミュニケーションの取り方を変えて「育て直し」ていくことを考えていきます。 (研修の内容は平成30年7月24日開催の研修と同内容です。) (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	廣川 進	40
10月24日(水) 14:00～16:00	労働衛生管理の基礎と事例 ～管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修について～ 基礎と事例シリーズは受講者の皆様からのアンケートに基づきテーマを設定しています。今回は、二部構成で実施します。第一部でテーマの法律面・現場の実務面の説明をします。 第二部で各企業における「管理監督者のメンタルヘルス基礎研修とリスナー研修」について「知る、聞く、話す」を基に簡単なセッション(グループワーク)を行います。 (保健師・看護師・人事労務・衛生管理者共通研修)	吉田 守	50
10月29日(月) 14:00～16:30	がんをもつ労働者と職場へのより良い支援のために ～治療と就労のバランスを支えるヒント～ 今回の研修では、近年増えているがんをもつ労働者が、治療と就労のバランスをとれるようにすることを目指して、どのような支援が望まれるか、どのように支援を進めるかについて、事例検討を含めて学びます。	錦戸 典子 佐々木 美奈子 社会保険労務士 本山 恭子	30